

技能五輪全国大会にむけて —選手と指導者へ—

2008年9月25日・26日

選手にむけて

●技能五輪全国大会とは？

☞ 目的は、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成を図る

☞ 本年度、46回目

●開始時期は？

1963年（東京）が初開催→国際は12回目

●今後の予定は？

茨城（2009）、神奈川（2010）、長野（2010）

選手にむけて

●技能五輪国際大会とは？

☞ 正式名称は、 WorldSkills Competition

☞ 本年度、40回目

●次回の開催国は？

カルガリー（カナダ）

●次回の出場国は？

日本、カナダ、韓国、タイ、シンガポール、ブラジル、スウェーデン、ノルウェー、オランダ、アラブ首長国連邦

選手にむけて

●情報ネットワークの歴史

☞ 全国大会での開催は何県から？ 岩手県

☞ 本年度何回目？、 5回目

☞ はじめは何人競技？ 2人

☞ はじめは何歳まで出場できた？ 23歳以下

●歴代の優勝者は？

選手にむけて

●技能五輪は何のために参加するのか？

- ☞会社から言われたから、仕方なく。
- ☞面白そうだから。
- ☞スポーツではダメだから。
- ☞もてそうだから♡
- ☞日本一、世界一になりたい！
- ☞技能を磨きたい！
- ☞先輩に憧れて！
- ☞指導者に憧れて！
- ☞何かにチャレンジしたかったから。

指導者にむけて

●技能五輪は何のために参加するのか？

- ☞会社から言われたから、仕方なく。
- ☞面白そうだから。
- ☞日本一、世界一になりたい！
- ☞技能を磨きたい！
- ☞会社に貢献したい！
- ☞会社の技能をPRしたい！
- ☞何かにチャレンジしたかったから。
- ☞指導者としてキャリアアップしたい！
- ☞人材育成システムの一貫として！
- ☞人材育成システムを構築したい！

選手にむけて

●技能五輪に勝つには何が必要か？

- ☞「これで大丈夫だろう」は厳禁！上には上が。
- ☞わからないことがあれば、徹底的に解決。
- ☞冷静に、客観的に。
- ☞「勝ちたい」という気持ちは誰にも負けるな！
- ☞君が歴史をつくる！

指導者にむけて

●技能五輪に勝つには何が必要か？

- ☞何事にも「しつこく」「妥協しない」
- ☞競争であることを忘れない・・・四当五落？
- ☞考え続ける。
- ☞過去・現在を徹底的に研究する。
- ☞選手の競技ではなく、指導者の競技である
- ☞継続は力なり
- ☞聞くことを厭わない。

配点

課題 1 : 20点

課題 2 : 15点

課題 3 : 45点

課題 4 : 10点

課題 5 : 10点

課題 6 : 15点

総合主観 : 5点

品質向上点 : 5点 > 時間点 : 5点

各課題のポイント

課題 1

- 差がつく課題ではない！
 - ☞差がついたら、もう・・・
 - ☞ただし、イメージはついちゃうかも！
- 時間内は当然、選択課題もフルに！
- 設計もあるので冷静に！
- きれいに、丁寧に、寸分の狂いもなく！

課題 2

- もはや、差がつく課題ではない！
 - ☞ 差がついたら、もう・・・
 - ☞ ただし、45分という新ルールがどうでるか？
- でるか！49接続！
- 金メダルは、この課題の上位者（3名以内）
- 捻れ、挟み込みは厳しく減点！
- ルール違反は許さず！

課題 3

- 最大の勝負課題
 - ☞ 光設計は確実に！
 - ・ 図記号（凡例）はサンプルどおり
 - ・ Fig.2の一部の設計
 - ・ ある程度綺麗であればOK
 - ・ 接続数は増える！！30%しか終了しない？
 - ☞ 光の丁寧さがそのまま結果に直結！？
 - ☞ メタルは確実に・丁寧に！
- 選択課題勝負か！？
 - ☞ スピードが遅ければ何にもならない！
- 品質を向上させる工夫をどれだけできるか！
 - ☞ 出来型ではもはや差がつかない？

課題 4

●最大の困惑課題

- ☞初の測定課題
- ☞冷静にできれば・・・
 - ・光とメタルの両方
 - ・記入例（提出物）は公開予定
 - ・OTDRとDTX-1800

●8割の選手は満点か！？

課題 5

●基礎技能を図る課題

- ☞初のメタルスピード競技
- ☞ケーブルごとに成端作業を！
 - ・まとめて同一作業は禁止

●10名程度の選手は満点か！？

課題 6

●標準とは完全に！

- ☞ 課題 1 . . . 2 課題
- ☞ 課題 3 . . . 2 課題（メタル）
3 課題（光）

●標準課題と同じように採点

- ☞ 行っても満点ではないかも？

●事前申告制とする

- ☞ 申告していないとできない
- ☞ 申告して、行わなければ減点（－1）
- ☞ 競技開始前まで、変更可

新しいシステム

警告システムの導入

●ルール違反は原則、減点！

- ☞ 1回目は、減点なしの警告
 - ・ 指導員に対して。選手に伝えること
 - ・ 1回目はドンドン出す
 - ・ 警告受けたことを公開
 - ・ 重大違反は、すぐに減点
- ☞ 2回目は、減点・・・－5点
 - ・ 累積警告2回目以降も減点・・・－2点
- ☞ 対象事項は、原則公開
 - ・ ただし、当日に警告することも

●対象事項（案）

- ☞ 安全に関わること
- ☞ 重大な違反
- ☞ 現場に即していないこと

作業中採点項目 2

重大過失

- ・ 使用工具、材料等に違反がある
- ・ ごみ等があるなど環境整備が良くない（終了時）
- ・ 安全上の重大な問題有り
- ・ 競技架台等を損傷させた

ケーブル工法

- ・ 過大な張力を何度もかけている
- ・ 配線中の曲げ半径の違反が何度もある
- ・ 配線中にキンクなどが発生している
- ・ 作業順序が不適切である
- ・ 配線手順が不適切である
- ・ 光ケーブル・心線に損傷を与えた、与える可能性のある作業である
- ・ ケーブル前処理の方法に明らかな間違い有り
- ・ 通線機の使用無し

作業中採点項目 3

作業全般

- ・ 競技開始前の挨拶なし
- ・ 安全上の軽微な問題有り
- ・ 競技開始時の工具・材料確認なし（競技中に部材が無いなどの申告あり）
- ・ 工具・機器の整備がされていない
- ・ やり直し作業が多い
- ・ ごみ等があるなどの環境整備が良くない（作業中・終了時）
- ・ 作業順序が不適切である
- ・ 測定方法に明らかな間違い有り（コネクタのクリーニング無しなど含む）
- ・ 工具の使用法に明らかな間違い有り
- ・ 防護メガネ着用無し
- ・ 工具清掃無し
- ・ 工具の使用法が不適切（基本作業のみ採点。明確な違反以外は含まない）
- ・ 作業（施工）間違いを訂正した

作業中採点項目 4

部材・接続工法

- ・ シールドジャックの組立法に明らかな間違い有り
- ・ アンシールドジャックの組立法に明らかな間違い有り
- ・ 情報用分電盤、コンセントなどの組立法に明らかな間違い有り
- ・ 光接続箱の組立法に明らかな間違い有り
- ・ メカスプ接続法に明らかな間違い有り
- ・ 現場SCコネクタ組立法に明らかな間違い有り
- ・ 心線前処理の方法に明らかな間違い有り

ケーブル工法の注意点

- ・ 過大な張力を何度もかけている
- ・ 配線中の曲げ半径の違反が何度もある
- ・ 配線中にキンクなどが発生している
- ・ 作業順序が不適切である
- ・ 配線手順が不適切である
- ・ 光ケーブル・心線に損傷を与えた、与える可能性のある作業である
- ・ ケーブル前処理の方法に明らかな間違い有り
- ・ 通線機の使用無し

手順の注意点

- ・ 競技開始前の挨拶なし
- ・ 安全上の軽微な問題有り
- ・ 競技開始時の工具・材料確認なし（競技中に部材が無いなどの申告あり）
- ・ 工具・機器の整備がされていない
- ・ やり直し作業が多い
- ・ ごみ等があるなどの環境整備が良くない（作業中・終了時）
- ・ 作業順序が不適切である
- ・ 測定方法に明らかな間違い有り（コネクタのクリーニング無しなど含む）
- ・ 工具の使用法に明らかな間違い有り
- ・ 防護メガネ着用無し
- ・ 工具清掃無し
- ・ 工具の使用法が不適切（基本作業のみ採点。明確な違反以外は含まない）
- ・ 作業（施工）間違いを訂正した

コンタクトタイムの導入

●課題3の途中で20分間

- ☞ 10:30～10:50
- ☞ 休憩は必ず行うこと
- ☞ 指導員と自由に会話できる
 - ・ 指導もOK
 - ・ 指導員は登録者のみ（2名制限）
 - 選手2名以上のところは、3名
- ☞ ブースが見えない場所で、全員が同一場所

事前準備に関する規定

- スイッチボックス（標準ネジ取り外し）OK
- 各ケーブルのまき直し・まとめ（同一ケーブルのみ）OK
- 持ち込み・支給材料・工具のセッティング

OK

支給材料の袋だし・不必要部材除去、110取付盤への固定、仕分け、

NG

接続箱クランプ取り付け禁止、IDCキャップ外し、
心線のより分け（課題2）、工具を作業スペースに配置

※事前準備も警告対象（一発、減点あり）

最後に一繰り返しですがー

- 大会の傾向（特に採点）を十分に研究
- 独自スタイルは通用せず
- 採点は相対的な観点も存在する
- 標準やルールとして整理された点は確実に実行
- 品質（機能）確保作業は、積極的に加点
- スピードより丁寧さを重視
- 標準作業終了時の点検を詳細に
- 選択課題の品質検査もより詳細に
- 光課題の比重UP
- スタイルの確立
 - ☞積極的に採点項目に取り入れられるようPR